

## 会 議 録

会議の名称	平成 26 年度 第 1 回文化財審議会
開催日時	平成 26 年 6 月 25 日(水) 15 時 00 分～16 時 30 分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	吉川節男委員、川端正則委員、大久保善郎委員、塩入たま江委員、 松本伸行委員、佐々木真理子委員、杜多堯慶委員 事務局（友光生涯学習課長、加藤生涯学習副課長、堀主査）
欠席者	なし
会議次第	1. 協議 （1）今年度の文化財審議会計画について （2）各種委員の選出について （3）その他 2. その他
会議資料	・平成 25 年度の主要事業 ・平成 26 年度の主要事業 ・人間東部地区文化財保護連絡協議会総会資料 ・文化財目録作成会議 ・平成 26 年度文化財審議会計画について ・各種委員の選出について
公開・非公開	公開（傍聴人 0 人）
会議録確認	吉川委員

## 会議内容

あいさつ（議長）

### 1. 協議

#### （1）今年度の文化財審議会計画について

事務局：今年度の審議会計画については、前年度及び今年度の文化財担当課の主要事業を踏まえて検討していただきたい。

【 事務局説明／主要事業・入間東部地区文化財保護連絡協議会総会・文化財総合目録作成会議について報告 】

平成25年度より文化財総合目録の作成を実施しており、これから市内に分布する各種文化財が整理されていくことになる。これを踏まえて、後世に残していくべき良好な資料については、候補を整理・検討し市指定文化財として指定し保護していきたいと考えている。ご意見を伺いたい。また、現状では市指定文化財は29件あるが、他にも加えていくべき分野・項目の文化財についても、ご意見を伺いたい。

委員：良いと思う。

委員：昨年度、審議会で検討した「文化財保護マスタープラン策定に向けた基本的な方針について」の中で、富士見市の特色をあらわすものとして、『水が育んだ文化 ～武蔵野台地と低地に暮らす～』をメインテーマに掲げた。富士見市が水との関わりが強いことが再認識できたが、現在の指定文化財を見ると新河岸川関係文化財が少ないと思う。

委員：河川を利用した仕事についていたところには、把握していないだけで貴重な資料もあると思う。

委員：舟唄も残していくべきだと思う。まとめたものがあるが人によっては違うと言われるので、地域によって異なると思う。

委員：音の記録も文化財として大切だと思う。

事務局：文化財総合目録の作成が進んでいけば、様々な分野の文化財があげられる。その中からも指定候補はあると思う。

事務局：では、次回の会議には、伺った意見を基に関連する資料を提示して、ご意見を伺いたい。

検討していく過程で可能であれば、実物を見ていきたいと考えている。

#### （2）各種委員の選出について

事務局：各種委員の選出を互選でお願いしたい。

入間東部地区文化財保護連絡協議会理事に吉川委員、入間東部地区文化財保護連絡協議会監事に大久保委員、富士見市人権教育推進協議会理事に佐々木委員が選出された。

### 次回会議

次回の日程については、10月を目途に日程を調整する。



